名古屋徳洲会総合病院　広報誌

かすたねっと

2024年
3月

編集発行
（毎月１日発行）

名古屋徳洲会総合病院　住　所：愛知県春日井市高蔵寺町北2-52
電話番号：0568-51-8711（代）　FAX番号：0568-51-7115

目　次

診療科報告（麻酔科）　２頁
看護部便り（６階西病棟）　３頁
コメディカル便り（栄養科）　４頁
事務部便り（メディカルクラーク）　５頁
TOPICS　６頁
医師紹介　７頁
外来予定表　８頁

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定番 JC1021 号

「TOP NEWS」

104歳 女性 心臓手術成功

「経カテーテル大動脈弁植込術」

▲元気に歩く患者さん（リハビリにて）

▲手術を行った田中医師（左）、リハビリ担当の林理学療法士（右）

大動脈弁狭窄症の104歳女性が、『経カテーテル大動脈弁植込術（TAVI）』の手術を受けられました。TAVIの症例としては、全国で最高齢です。

女性は名古屋市在住の加藤さん。１月上旬に呼吸苦で緊急搬送され、心不全、大動脈弁狭窄症と診断されました。

手術は入室して２時間程度、カテーテル手技自体は約２０分 で終わりました。

加藤さんは、翌日には歩行開始、心不全も見る見るうちに改善し、１週間後には退院可能となりました。写真は術後５日目のものです。健康寿命を延ばすTAVIという選択肢を知って頂きたく思います。

循環器内科 部長　田中 昭光

患者さんの権利

1．平等で最善の医療を受けることができます。
2．病気の治療計画の内容などの情報が得られます。
3．説明を受けたのち診療計画について自分で選ぶことができます。
4．プライバシーが守られます。
5．病気や療養方法及び保健、予防について健康教育を受けることができます。

理　念

『生命を安心して預けられる病院』
『健康と生活を守る病院』

麻酔科
近況報告

麻酔科
部長
赤堀　貴彦

ご挨拶

当院麻酔科は常勤医師10名、診療看護師１名、非常勤医師数名で診療を行っております。常勤医師10名のうち、２名が指導医、７名が専門医の資格を有しており、心臓血管外科・脳神経外科を含めた緊急手術に随時対応できる体制で手術室運営を行っております。

麻酔科がすべての全身麻酔を担当するとともに、手術室で行われるすべての手術を安心して受けて頂けるように手術室全体の安全管理もさせていただいています。

麻酔科の特徴

◇ 365日24時間の緊急手術対応

当科は365日・24時間、緊急手術に対応が可能な体制を整えております。夜間・休日におきましても、すぐに緊急手術が開始できるように待機しております。

◇ 麻酔件数

毎年2,000件を超える手術の麻酔を麻酔科管理で行っております。このうち心臓血管外科の麻酔科管理数が400件を超えることも当院の特徴です。

◇ 他部門の専門スタッフとの連携

手術は医師、看護師、臨床工学技士、薬剤師、放射線技師など多くのスタッフが関わります。

各専門職員と連携し、密にコミュニケーションをとり、患者さんの手術が安全に行われるよう万全の体制で臨んでおります。

◇ 手術前説明

手術前に患者さんに麻酔についての説明をし、体調などをお聞きして、患者さんが受けられる手術に対して最適な麻酔方法を選択します。

◇ 教育・研修

日本麻酔科学会を含めた各学会の学術集会への参加や学会発表を行っております。

当院は５つの麻酔科専門医研修プログラムの連携施設として登録しており、麻酔科専門医を目指す若い麻酔科医の育成にも力を入れています。

2020年度からは心臓血管麻酔学会の施設認定も取得しました。心臓血管麻酔専門医を目指す麻酔科医の育成も行っており、２名の合格者を出しています。

▲心臓血管麻酔学会の施設認定

さいごに

近年増加傾向にあるカテーテル室での全身麻酔にも対応できる体制づくりをしております。

私達は日々、痛みが少なく安全な麻酔を提供できるよう努めてまいります。

知ってますか？正しい感染予防策

看護部便り
6階西病棟
2024.3

看護師長
野村　あゆみ

はじめに

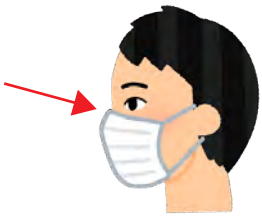
ここ数年、コロナ感染症が蔓延し、感染予防策を考える機会が増えました。

コロナ感染症だけではなく、その他多くの感染症があります。また、季節性の疾患も多くなり正しいマスクの着脱などを理解しておくことも重要です。今回は、感染予防策として「マスクの着脱について」「正しい手洗いの方法」についてお話しします。

マスクの着脱について

①マスク着用時は、鼻、あごが隠れるように着用する

②上部に針金状のノーズピースがついているマスクは、鼻の形に合わせて隙間がないように着用する



③マスクを外す際、表面は汚染しているものと考え、触れないようにゴムひも部分をもって外し廃棄する

マスクの正しい着用で、感染者からの吸い込み飛沫量は、30%程度に減少すると言われています。これからの時期は花粉症発症の時期にもなってきます。正しいマスク着用を行い予防対策に努めていきましょう。

正しい手洗いの方法

外出先では、不特定多数の方が触れたものに触る機会（例えば、電車のつり革や出先で出入りするドアノブなど）が多くあります。自分の手にも多くのウイルスが付着している可能性があります。

そのため、外出先から帰宅後や、食事の前には必ず手洗いをするよう心掛けましょう。テレビなどで話題となる「ノロウイルス」は、アルコール消毒は効果がありません。十分な石けん手洗いが重要となります。

①流水で手をよく流した後手洗い石鹸を泡立て擦り洗う

②左右の手の甲を擦り洗う

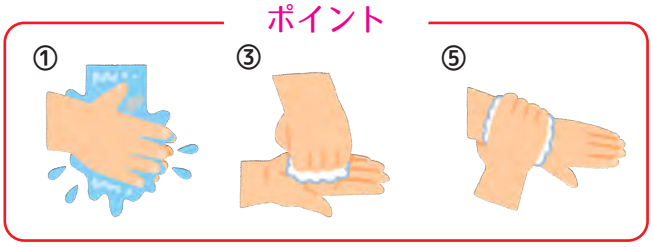
③指先、爪の先を手のひらで擦りながら洗う

④指の間を擦り洗う

⑤手首を擦り洗う（やっていない人は多いです）

⑥流水でよく洗い流し、清潔なタオルで拭き乾燥させる

ポイント



注意：爪の間や指輪をしている部分には汚れが付着している事が多いので、爪を短く切っておくことや指輪を外して手洗いすることが重要です。

正しい知識を身に付けて感染予防策を行いましょう。

減らそう塩分摂取量
～減塩調味料を上手に活用して～

栄養科
小嶋　奈見

コメディカル便り
栄養科
2024.3

はじめに

皆さんは１日にどれくらい塩分を摂取しているか考えたことはありますか？

塩分は、血圧･体温･体液量などを一定の範囲内に保つ働きがありますが、摂り過ぎは高血圧症の元になります。高血圧症になると、動脈硬化や心疾患、脳血管疾患などを誘発する恐れがあり、注意が必要です。日本人の１日の食塩摂取量の目標量は男性7.5ｇ未満、女性6.5ｇ未満となっています。ただし、高血圧症や心疾患のある方は、「1日６g未満」が推奨されています。

令和元年の国民･栄養調査によると、日本人の１日平均食塩摂取量は10.1ｇであり目標量より過剰となっています。日本人は１日の食塩摂取量のうち約７割を調味料から摂っていると言われており、減塩調味料を上手に取り入れることで塩分摂取量を効率的に減らすことができます。

減塩食品の種類

皆さんは減塩食品を使用した事がありますか？減塩食品とは、「加工食品において、同種同類の対象（比較対象）となる食品より、ナトリウムを低減させた食品」と表現されています。最近では、減塩タイプの漬け物や加工食品など様々な商品が発売されていますが、減塩調味料としては、醤油や味噌をはじめ、ソース、ドレッシング、だしの素などがあります。

今回は私たち日本人の食生活に欠かせない調味料である醤油、味噌について紹介します。

●減塩醤油

減塩醤油とは醤油100gあたりの食塩量が9g以下、またナトリウム量が3550mg以下の醤油を言います。減塩醤油の減塩率が50％塩分カットと表示されている商品であれば、同じメーカーの減塩タイプでない醤油と同量を使用した場合、食塩摂取量を半分にすることができます。商品によって減塩率や元々の塩分量が違う為、パッケージに記載されている栄養成分表示の「食塩相当量」の項目を見て正確な塩分量をチェックしてみましょう。

●減塩味噌

減塩味噌は、一般的な味噌よりも塩分量を減らして作られています。そのため、製造工程では、雑菌の繁殖を抑制し保存性を高めるために麹の量を増やしています。麹をたっぷりと使用することで、麹や大豆由来の旨味が増し、素材の味を楽しみながら食べることができます。味噌汁は具だくさんで作ると素材のうま味が加わり、減塩味噌でもおいしく仕上がります。

減塩調味料を使用するときのポイント

調味料を減塩調味料に置き換える際は、計量スプーンを使用し、量は同量以下になるようにしっかりと計りましょう。煮物などの料理の味付けにおいて、普段の味に近づけようとして量を気にせず減塩調味料を入れてしまうと、結果的に塩分量が増えてしまいます。薄味に物足りなさを感じる際は、だしの旨味を利かせたり、酢や柑橘類などの酸味や香辛料をアクセントとして使うなど、塩分以外の味を活用してみましょう。

さいごに

食事は３食、主食、主菜、副菜とバランス良く薄味で摂取するように心掛けましょう。

参考文献
【塩分】おいしく減塩、正しく減塩　全国健康保険協会ホームページ
減塩味噌とは？減塩味噌に変えるメリットデメリットを紹介
OMISONOMORIホームページ

「医師の働き方改革」について
～医師事務作業補助者をご存知ですか？～

事務部便り
総務課
2024.3

メディカルクラーク
副主任
松本　淳子

■ はじめに

私たちの国の医療は、医師の長時間労働に支えられています。今後の医療ニーズの変化や医療の高度化、少子高齢化により、今後はさらに医師たちの負担が増加されることも予想されます。こうした医師の労働環境改善を目指すために、2024年４月から医師の働き方改革が実施されることをご存知でしょうか。

■ 医師の働き方改革とは？

医師の長時間労働の改善や健康確保を行うなど、労働環境に関する改革のことです。

医師が健康的に働き続けることができる環境を整備し、持続可能な医療提供体制を維持していくために必要な取り組みです。

■ 医師事務作業補助者とは？

医師事務作業補助者とは勤務医の負担軽減を推進すべく導入された職種です。当院では2010年に導入され、通称メディカルクラークと呼ばれています。

医師事務作業補助は医師が診療に専念できるようサポートする職種です。

▲当院の医師事務作業補助者

≪医師事務作業補助が行っている業務の一例≫

●医療関連の文書代行作成
各種保険等診断書、証明書、紹介状など

●電子カルテの代行入力
初診時の問診内容の入力、病棟回診記録、カンファレンス記録など

●診察･検査･処方の代行オーダー

●症例データの収集管理

※原則、医師事務作業補助者の業務は、医師の指示指導の下に行われます

私たちが上記の業務を行うことで、医師がそれらの作業に割いていた時間を診療に専念することが出来るようになります。

■ タスク･シフト/シェアとは？

今年の春から始まった取り組みのひとつである「タスク･シフト/シェア」とは、医師の業務負担を軽減するために、従来医師が行っていた業務（タスク）の一部を、他の医療スタッフ（看護師、放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、薬剤師、救命救急士、医師事務作業補助者など）へシフト（移管）やシェア（共同化）することです。担い手の部署のひとつとして、医師事務作業補助者のより一層の貢献により、医師の働き方改革が推進されます。

■ さいごに

現在は多くの外来診察や病棟回診などに同席しており、医師の近くでカルテ入力をしています。直接患者さんと接する機会はほとんどありませんが、タスク･シフト/シェアを推進するには欠かせない職種です。まだまだ認知度が低く、あまりご存知ない方も多いと思いますが、これをきっかけに皆さんに知っていただければ嬉しいです。

TOPICS-1

「徳洲ジェット」自主運航開始

都市部から離島・へき地へ
一気に医療者輸送

徳洲会は“生命だけは平等だ”の理念の下、離島・へき地医療に精力的に取り組んでいます。

民間の定期旅客便のみに頼ると効率的な移動はできないため、これまで軽飛行機「徳洲号」の運用をし、沖縄県の那覇空港を拠点に離島間を結んでいました。今回、徳洲会が「徳洲ジェット」を導入したのは、離島・へき地へのさらなる支援のためには都市部と離島・へき地を効率的に結ぶ移動手段が必要と考えたからです。

最大巡航速度は時速782km、航続距離は2,661km。たとえば、医師が大阪から鹿児島県徳之島に移動して手術を行う場合、通常の定期便では鹿児島空港を経由するため、手術日前日に移動する必要があります。一方、徳洲ジェットであれば約２時間で一足飛びに移動でき、時間のロスがありません。午前中に出発し、手術を終えてから夕方に戻れば、日帰りも可能、チームでの移動もできます。

２月１日に八尾空港で安全運航を祈願して修祓式を行った後、羽田空港までテストフライトを行いました。

活用法は無限大であり、離島・へき地医療のさらなる支援のために、積極的に役立てていきたいです。

総長　大橋 壯樹

TOPICS-2

当院の歯科衛生士が能登半島地震被災地で支援

▲現地では、災害直後から医療支援活動をしている
TMAT（徳洲会医療援助隊）の支援現場に遭遇しエールを送り合った

▲活動の様子

２月３日から６日まで、「JDAT（日本災害歯科支援チーム）愛知」の一員として、石川県輪島市において支援活動に参加しました。

日常的に口を清潔に保つことは肺への細菌の流入によりおこる誤嚥性肺炎の予防として重要ですが、被災時は様々な理由により口の保清が困難になります。被災から１ヶ月経過した現地には歯ブラシなどは届いていましたが、歯磨きをする環境に不自由があったため、避難所の状況に応じた口のケア方法を紹介しました。

また、水分を控えたり暖房による空気の乾燥が口の乾燥につながる状況に対して、少量ずつの水分摂取、唾液を出すための唾液腺のマッサージ、キシリトール入りのガムを咬むなどが有効であることを伝え、とくに高齢者が多い避難所では食べたり飲んだりする口の機能が低下しないよう、口の健康体操を紹介しました。

日頃から災害に備えて、口のケア用品を用意しておき、災害時の口のケア方法の知識を学び、口のトラブルを放置しておかないように心掛けましょう。

歯科衛生士　水草あゆみ

＊JDAT愛知：徳洲会外部の団体。1月18日からリレー形式で、1チーム4名体制（歯科医師・歯科衛生士を含む）で支援を継続しています。
今回、病院の理解を得て活動参加に至りました。

医師紹介

内科

宋 潤錫
日本内科学会認定医

吉田 香果
非常勤医師
日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本医師会認定産業医

毛利 公亮

伊藤 竜男
非常勤医師
日本内科学会総合内科専門医
日本糖尿病学会専門医
日本内分泌学会専門医

稲垣 智里
非常勤医師
日本内科学会認定医
日本糖尿病学会専門医
日本内分泌学会専門医

糖尿病内科

猪谷 淳夫
非常勤医師

脳神経内科

小林 智則 副院長
博士（医学）
日本内科学会総合内科専門医
日本神経学会神経内科専門医・指導医
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医

総合内科

矢野間 紗稀

青山 栞奈

金城 真喜人

総合内科

藪田 泰輝

坂本 暉

山田 喬之

呼吸器内科

宇賀神 基 部長
博士（医学）
日本内科学会総合内科専門医
日本呼吸器学会専門医・指導医
日本感染症学会専門医・指導医

久保 昭仁
非常勤医師
日本内科学会総合内科専門医
日本臨床腫瘍学会専門医・指導医
日本呼吸器学会専門医

循環器内科

加藤 千雄 院長
博士（医学）
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会専門医
日本不整脈学会不整脈専門医

青山 英和 副院長
博士（医学）
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会専門医
日本心血管治療インターベンション学会専門医

安藤 みゆき 部長
博士（医学）
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会専門医
日本心血管治療インターベンション学会認定医

田中 昭光 部長
日本心血管治療インターベンション学会専門医
日本循環器学会専門医
胸部・腹部ステントグラフト指導医
TAVR実施医・指導医

石黒 宣夫 医長
日本内科学会認定医
日本循環器学会専門医
日本心血管インターベンション学会認定医

循環器内科

長谷川 新 医長
日本循環器学会専門医
経皮的冠動脈ステントグラフト・動脈瘤ステントグラフト・動脈塞栓
TAVR 専門医
日本心血管インターベンション学会認定医

上原 千弘

富永 新平
非常勤医師
日本内科学会認定医
日本心血管インターベンション学会認定医

菊池 駿
非常勤医師

小児循環器内科

後藤 浩子 医長
日本小児科学会小児科専門医・指導医
日本小児循環器学会小児循環器専門医

消化器内科

前田 洋平 医長
内科専門医
消化器内視鏡専門医

外科・消化器外科

高山 悟 副院長
博士（医学）
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本外科学会認定医・専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・評議員

坂本 雅樹 緩和ケア外科部長
博士（医学）
日本緩和医療学会専門医
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医

友田 佳介 消化管部長
博士（医学）
日本外科学会専門医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医

石川 健 肝・胆・膵部長
博士（医学）
日本外科学会専門医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医

外科・消化器外科

髙山 昇龍

横山 希生人

鈴木 大翔

髙橋 正寛

福田 真里

細木 良祐

馬場 卓也
非常勤医師

呼吸器外科

可児 久典 副院長
博士（医学）
日本外科学会認定医・専門医・指導医
呼吸器外科専門医
日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医

山下 正勝

乳腺外科

吉本 信保 部長
博士（医学）
日本外科学会専門医・指導医
日本乳癌学会専門医・指導医
精中委マンモグラフィ読影医師

脳神経外科

天野 貴之 副院長
日本脳神経外科学会専門医
日本脳神経血管内治療学会専門医

雪上 直人 部長
日本脳神経外科学会専門医
日本脳神経血管内治療学会専門医
日本脳卒中学会専門医

伊佐治 泰己
博士（医学）
日本脳神経外科学会専門医
日本脳神経血管内治療学会専門医
日本脳卒中学会専門医

井面 利昂
非常勤医師

間瀬 光人
非常勤医師
日本脳神経外科学会専門医・評議員
日本脳卒中学会専門医・評議員
日本神経内視鏡技術認定医

松尾 直樹（非常勤）

青山 正寛（非常勤）

婦人科

川出 芳彦
非常勤医師
日本産婦人学会専門医
母体保護法指定医

荒井 麻実（非常勤）

病理診断科

西川 秋佳 部長
博士（医学）
日本病理学会認定病理専門医
日本臨床細胞学会認定細胞診指導医
日本毒性病理学会認定毒性病理学専門家

服部 日出雄 医長
日本病理学会専門医
細胞診専門医

心臓血管外科

大橋 壯樹 総長
大阪大学医学部臨床教授
日本外科学会指導医
日本胸部外科学会指導医
心臓血管外科指導医

景山 聡一郎 医長
日本外科学会専門医
心臓血管外科指導医

児島 昭徳 部長
日本外科学会専門医
日本心臓血管外科学会専門医
腹部ステントグラフト実施医

山内 博貴
日本外科学会専門医
胸部ステントグラフト指導医
腹部ステントグラフト実施医
下肢静脈瘤血管内治療実施医

森田 英男
日本外科学会専門医

菱川 敬規
下肢静脈瘤血管内治療実施医

曽我部 博文
下肢静脈瘤血管内治療実施医

日置 薫
非常勤医師

皮膚科

三尾 清春 部長

形成外科

藤井 勝善
非常勤医師
日本形成外科学会専門医
日本熱傷学会専門医

整形外科

植田 晋太郎 医長
日本整形外科学会
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会
日本肩関節学会
日本人工関節学会

前田 徹
非常勤医師
日本整形外科学会専門医
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医
日本整形外科学会スポーツ医

服部 敏
非常勤医師
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医

仁丹 克則
非常勤医師
日本整形外科学会専門医
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医

手の外科

水島 秀幸 部長
（手の外科、マイクロサージャリーセンター長）
日本整形外科学会専門医
日本手外科学会手外科専門医・指導医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄医

眼科

石田 琴弓
日本眼科学会専門医

石黒 聖奈

森田 裕（非常勤）

救急集中治療部

青山 英和（兼務）

立野 里織
日本麻酔学会専門医
日本救急医学会救急科専門医

小児科

髙橋 雅也 医長
日本小児科学会小児科専門医

麻酔科

赤堀 貴彦 部長
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会指導医
日本救命救急蘇生法センター（JR-POT）認定医
心臓血管麻酔専門医

山田 佳奈 医長
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会指導医

畑平 安香
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医

髙柳 博子
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医

田中 久美子
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医

加藤 ゆか里
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医

兒玉 絵里
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医

田中 美緒
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医
日本救命救急蘇生法センター（JR-POT）認定医
日本区域麻酔検定試験（J-RACE）合格

小林 加奈
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医

恒川 亜里紗
麻酔科標榜医

泌尿器科

秋田 英俊 部長
博士（医学）
日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医
泌尿器科腹腔鏡手術認定医

森久 医長
博士（医学）
日本医師会認定産業医

須江 保仁

歯科口腔外科

足立 誠 部長
博士（歯学）
日本口腔外科学会専門医・指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
インフェクションコントロールドクター

中村 健人
日本口腔外科学会認定医

堀田 侑花

森下 雄斗（非常勤）

内田 晃平（非常勤）

耳鼻咽喉科

竹本 直樹（非常勤）

讃岐 徹治（非常勤）

玉井 ひとみ（非常勤）

浅井 淨二（非常勤）

健診センター

後藤 浩子 医長
日本人間ドック学会認定医
人間ドック情報管理指導士

深田 裕美子
非常勤医師
日本内科学会認定医
日本人間ドック学会認定医
日本医師会認定産業医

総合診療部

三木 紹君

梅村 優宇

菅 健太

鈴木 研一朗

髙橋 優斗

仲野 将隆

中村 太亮

吉良 槙一

千川 夏輝

西村 夏彦

福元 俊介

船坂 哲平

劉 炯毅

2024年3月 外来診療体制

【午前診】 診療時間	9:00～12:00(受付時間 8:00～11:30)
【夕 診】 診療時間	17:00～19:00(受付時間 16:30～19:00)

他院からの紹介患者さん、緊急患者さんはいつでも対応しております。
＊この診療体制は、業務上の都合で急に変更になる場合がありますのでご了承ください。
＊急患の方は、下記診療時間の限りではありません。ご質問等、お気軽にお電話ください。

○眼科・歯科口腔外科ご予約変更の方
＜代表電話＞0568-51-8711
○上記以外でご予約変更の方
＜予約直通＞0568-58-8482
平日 14：00～17：00

内科

	午前診
月	○宋 ○吉田 藪田 ◇猪谷
火	○宋 金城 ☆稲垣
水	○宋 山田(喬) 担当医
木	○宋 青山(栞) 毛利
金	矢野間 担当医
土	担当医 ★伊藤(竜)(第1・3)

(月～金)診療時間9:30～
○診療時間9:00～
◇糖尿病外来(診療時間9:00～)
☆予約制(診療時間9:00～)
★予約制【内分泌外来】診療時間9:00～

循環器内科・小児循環器内科

予 予約新患
当 当日新患

	午前診(新患)	午前診(再診)	午後診
月	予 田中 当 長谷川	加藤(千) 藪田	☆後藤 ★長谷川
火	青山(英) 担当医	金城	★上原
水	予 安藤 当 石黒(宣)	青山(英)	
木	金城 藪田		★石黒(宣) ＊後藤
金	予 加藤(千) 当 担当医	田中	★安藤
土	担当医 ペースメーカー外来(第2・3・4)		

(月・水・木・金)診療時間9:30～
☆予約制【小児循環器内科】13:00～15:30
★予約制(診療時間13:00～15:30)
＊予約制【小児循環器内科特殊検査のみ】13:00～14:00

外科・消化器外科・呼吸器外科

	午前診	午後診
月	可児〔呼吸器外科〕 福田 山下 ☆吉本	
火	○友田 ○細木 ☆吉本	
水	★坂本(雅) 石川(第1) 前田(第1) 横山	
木	＊高山(悟)(第2・4) 友田 鈴木(大)	⁂横山
金	可児〔呼吸器外科〕 髙橋(正) 福田	
土	交替制	

○診療時間9:30～
☆予約制【乳腺外科】診療時間9:30～
★予約制【緩和ケア外来】診療時間9:30～
＊予約制【肝臓外来】
⁂予約制 診療時間13:00～15:00

脳神経外科

	午前診	午後診	夕診
月	天野 伊佐治 担当医	○天野	
火	井面		
水	☆天野(第2・4) 雪上		
木	天野(第2・4) 雪上(第1・3) 伊佐治 担当医		●担当医
金	松尾		
土	交替制		

○診療時間14:00～17:00〔受付時間13:00～15:00〕
☆予約制【脳動脈瘤外来】
●診療時間17:00～19:00〔受付時間16:30～18:30〕

心臓血管外科

	午前診
月	大橋 森田(英) 山内
火	景山 曽我部
水	大橋 森田(英) 菱川
木	担当医
金	児島 山内
土	担当医

診療時間9:30～
※担当医師の急な変更あり

整形外科

	午前診	夕診
月	◇水島 担当医	☆水島
火	★植田 担当医	
水	◇水島 ○植田 担当医	
木	担当医	
金	◇水島 ○植田 仁丹 担当医	
土	担当医	

◇手の外科外来
☆予約制【手の外科外来】診療時間17:00～18:30
★診療時間10:00～
○診療時間9:30～

歯科口腔外科

	午前診	夕診
月		
火	足立 中村	中村
水	足立 中村	足立
木	交替制	
金	足立 中村	
土	交替制	

予約制

呼吸器内科

	午前診
月	矢野間
火	宇賀神
水	久保
木	宇賀神 山田(喬)
金	伊藤(亮)
土	

(月・火・木)診療時間9:30～

泌尿器科

	午前診
月	秋田
火	森
水	須江
木	秋田
金	森
土	

皮膚科

	午前診	夕診
月	三尾	
火	三尾	三尾
水	三尾	
木	三尾	三尾
金	三尾	
土	三尾	

脳神経内科

	午前診	午後診	夕診
月	小林		
火	小林		小林
水	小林	○小林	
木	小林		小林
金	小林		
土			

○診療時間13:30～16:30〔受付時間13:00～16:00〕

婦人科

	午前診
月	
火	川出
水	川出
木	荒井
金	
土	

形成外科

	午後診
月	
火	
水	○藤井
木	
金	
土	

○診療時間12:30～13:30
〔受付時間12:00～13:00〕

眼科

	午前診
月	担当医
火	石田 石黒(聖)
水	石田 石黒(聖)
木	石田
金	石黒(聖)
土	

耳鼻咽喉科

	午前診
月	
火	浅井
水	
木	
金	玉井
土	交替制

小児科

	午前診	夕診
月	髙橋(雅)	
火	髙橋(雅)	髙橋(雅)
水	髙橋(雅)	
木	髙橋(雅)	髙橋(雅)
金	髙橋(雅)	
土		

診療時間9:30～

＜特殊外来＞

進行癌外来【高山(悟)】 木(第2・4)(15:00～17:00)《予約制》	背椎背髄外科外来 【伊佐治、井面、雪上】月～木(9:00～12:00) 【青山(正)】金(9:00～13:00)	緩和ケア外来【坂本(雅)】(紹介患者さんのみ) 水(9:30～12:00)《予約制》
リウマチ・膠原病外来【猪飼・伊東】 火(18:00～19:30)《予約制》	小児循環器内科【後藤】 月(13:00～15:30)《予約制》 木(特殊検査のみ)(13:00～14:00)《予約制》	脳波外来【小林】脳波検査 月～木(14:00)《予約制》